



2018年3月14日

各 位

会 社 名 株式会社オプティマスグループ
 代表者名 代表取締役社長 山中 信哉
 (コード：9268 東証第二部)
 問合せ先 経営管理部長 嘉悦 清隆
 (TEL. 03-3456-1764)

2018年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年3月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、本年2月14日に公表した2018年3月期（2017年4月1日～2018年3月31日）の業績予想を修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

本年2月21日に公表しましたとおり、同月にニュージーランドで日本発の自動車運搬船において害虫指定のカメムシが発見されたことから、以降、日本からニュージーランド向けの物流に大きな乱れが生じました。そのため、当社が昨年12月26日に東京証券取引所に上場して第1期目の決算を迎えるにあたり、斯かる物流の混乱が当社グループの業績に与える影響を検証した上で業績予想を修正し、開示するものです。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2017年4月1日～2018年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 25,672	百万円 1,588	百万円 1,696	百万円 1,078	円 銭 211.60
今回修正予想（B）	26,452	1,245	1,384	910	178.63
増 減 額（B－A）	780	△343	△312	△168	—
増 減 率（％）	3.0	△21.6	△18.4	△15.6	—
（参考）前期実績 （2017年3月期）	27,092	1,576	1,944	1,367	272.28

2. 修正の理由

本年2月6日にニュージーランドのオークランドに入港した日本発の自動車運搬船からカメムシが発見されたことに端を発して物流に混乱が生じ、当社グループの業務にも影響が発生しました。同日以降、同国港への着船の一時拒否を含めて、車両の荷揚げが制限される事態となりました。斯かる事態への対応として、同月23日には同国の管轄省庁より、日本から同国へ荷揚げする車両には船積前に殺虫剤を散布すること、輸送船舶内で殺虫剤燻煙処理を行うこと等の勧告がなされました。そして同国への入港、荷揚げは当該管轄官庁によって厳重な検査が実施されることになりました。また、同国への入港、荷揚げを一時拒否された船舶も、船舶内で殺虫剤燻煙処理等を行い、厳密な検査と追加的措置を行った上で、問題がなかった車両は段

階的に荷揚げが行われるようになりました。

当社グループは、2月の物流の遅延を取り戻すべく、3月には例月を大幅に上回る台数に対応する配船と船荷スペースの手配を進めています。その結果、日本から輸出を行う貿易事業については、2月の販売台数（船積台数）のマイナスは3月に回復できる見込みです。但し、船積前検査では検査件数の回復が遅れているほか、ニュージーランドへの入港につきましては、正常化には時間を要する模様であることから、同国港での荷揚げに影響を受ける物流事業、輸入検査事業、サービス事業の一部については、3月船積分においても一部期ずれを生じております。

この結果、売上高はほぼ前回発表予想とおりの水準となるものの、検査事業における検査件数、物流事業における輸送台数ほか計画を下回り、営業利益以下を大きく押し下げました。斯かるカメムシに起因する業務への影響を主因に、前回発表の予想から減益となる見込みです。

以上より、2018年3月期の通期連結業績予想を修正することといたします。

以 上